

特色

①本著作集は、現在絶版になっている黎明書房版『森昭著作集』全6巻(昭和52、53年刊)を基にして、その後の森昭研究の成果を踏まえて未収録の著作を加えるなど、新たに編集した復刻版の著作集である。

②新たに加えた著作は、第2巻の『教育とは何か―民族の危機に立ちて』、『ドイツ教育の示唆するもの』、第6巻の「田邊先生の書簡から」(『田邊元全集』月報掲載)、第7巻の『現代教育思潮』(抄録)、「ヴァレリー・安紀への手紙」(『人間のたのめ教育1 幼児』序)と『改訂現代教育学原論』である。

③第8巻巻末には田中每実(武庫川女子大学教授・京都大学名誉教授)による解題と、年譜・研究業績目録(佐藤亨作成)を付している。

各巻主要目次

第1巻 教育理想の哲学的探求／教育哲学序論

『教育理想の哲学的探求』序 第一章 過去の日本と今日の教育 第二章 教育の主体的問題 第三章 現代の歴史的社会的現実と精神的状況 第四章 世界観と教育 第五章 政治と教育 第六章 教育理想の探求的自覚
『教育哲学序論―教育哲学への境界状況』緒論「教育の学」への懐疑 第一章 学問としての教育学 第二章 「教育学」の成立と発展―その社会的思想的背景 第三章 「教育学」と「教育科学」との分化的発展―その社会的思想的背景 第四章 教育哲学への境界状況 第五章 世界観と教育哲学 あとがき

第2巻 教育とは何か／ドイツ教育の示唆するもの

『教育とは何か―民族の危機に立ちて』はしがき 序章 教育の本質―具体的に迫るために 第一章 教育の本質を正しくつかむために 第二章 人間の成長―その見方・考え方 第三章 社会と人格の生成―その見方・考え方 第四章 現代の教育を如何に考えかつ行うか
『ドイツ教育の示唆するもの』序 第一部 外国旅行と自己認識／外国の教育思想の受容について／現代ドイツの学校制度／戦後のドイツ教育界の自己反省／西ドイツの社会科学教育の問題点／戦後ドイツの歴史教育 他 第二部 国際理解の三段階／西ドイツの地歴の教師と語る／国際幼児教育研究会に出席して／スエーデン印象記／デンマークにて／レジスタンスから協力へ／ドイツ人の日本観／日本民族と世界 他

第3巻 経験主義の教育原理

『経験主義の教育原理』第一章 経験主義の哲学と教育 第二章 プラグマティズムの本質と諸相 第三章 教育の人間学的基礎 第四章 教育の社会的条件 第五章 新しい経験の哲学 第六章 教育の経験論的基礎 第七章 教育における目的と手段 第八章 教育における方法と素材 第九章 教育の基本的課程 第一〇章 道徳と芸術と価値 補説 経験主義の教育原理の問題点

第4巻 教育の実践性と内面性

『教育の実践性と内面性―道徳教育の反省』第一章 人間生成の教育 道徳教育をめぐる対立／教育の本質／人間教育の基本構造／教育の目標 第二章 道徳教育の根本問題 現代の道徳問題／道徳の時間性と永遠性／内面的自覚と社会的実践 第三章 道徳教育の基礎―方法的考察― 道徳における自然と社会／人間の実践性と内面的性／道徳的行為と人格的自覚 第四章 道徳教育の内容 人間生活と徳目／倫理の基本／人格と人権／自身の倫理／創造的倫理／交渉的倫理／集団の倫理 補説―教育人間学の構想―

第5巻 教育人間学(上)

『教育人間学―人間生成としての教育(上)』第一章 教育の研究と教育人間学 教育人間学の動向 教育の常識と教育諸科学／総合的教育科学の諸類型 第二章 教育の理念と人間生成論 教育理念の基本的諸類型／人間生成論の歴史的源流／体系的教育学の研究課題 人間生成という概念 第三章 人間生成の生物・心理的基礎 さまざまな生成しうる動物人間生成の人類発生学的考察／人間生成の個体発生学的考察／人間生成の段階と基本的課題 第四章 人間生成の心理・人間学的考察 人間生成の心理的基礎と学習／人格の主体の生成と行為体系／人格的、社会文化的行為主体

第6巻 教育人間学(下)／田邊先生の書簡から

『教育人間学―人間生成としての教育(下)』第五章 歴史的社會における人間生成 歴史的社會過程と人間生成／歴史社會における人格形成 第六章 現代社會における教育の課題 現代社會の動向と民主的教育／教育実践学への人間学的展望 人名索引 事項索引 田邊先生の書簡から(『田邊元全集』第8巻付録月報より)

第7巻 現代教育思潮抄／ヴァレリー・安紀への手紙／改訂現代教育学原論

『現代教育思潮(抄)』はしがき 序章 現代の教育と教育思潮 第一章 現代ドイツの教育思潮 ヴァレリー・安紀への手紙(人間のたのめ教育1 幼児)序
『改訂現代教育学原論』新版序言 第一版緒言 第一章 教育の意味 第二章 教育の歴史と現代 第三章 教育の目的と課題 第四章 教育の政策と組織 第五章 教育実践学の基本 注 索引

第8巻 人間形成原論 解題／年譜・研究業績目録

『人間形成原論 遺稿』第一章 教育と人間への問い 人間にとつて教育とは何か／教育―その原型と変貌 第二章 自然と人間と歴史 宇宙と生物と人間／人間化の基底と展開 第三章 人間の発達と生涯 社会化・文化化・人格化／発達した人間と人間の一生 第四章 人間形成の目的―生涯成就・自己成全―生命鼓橋の作り渡しとしての生涯 注
解題(田中每実)／年譜・研究業績目録(佐藤亨)



『教育人間学』執筆の頃(昭和35年)



ハンブルク大学で講演(昭和28年1月)

第一節 教育の常識と教育諸科学

日本で現代的な意味の「教育学」が成立したのは、明治時代に欧米の「Pedagogy, Pädagogik」が入ってからである。ところで欧米における「ペダゴジー」は、必ずしも厳密な意味の教育学―「ソウは、きり」といって、学としての教育学を、必ずしも意味しないのである。それゆえドイツなどでは、「Pädagogik als Wissenschaft」(学としてのペダゴギク)という特別な表現をすることもまれではない。

ペダゴジー(Pedagogik)は、ギリシア語のパイダゴギー(paidagōgos)に由来し、この言葉は元来パイダゴギー・テクネー(paidagōgikē technē) (子どもを導くところの技術)という形容詞的用法から成立したといわれる。したがって、

1 ペダゴジー(Pedagogik)は、子どもを導く―教育的な意図的教育の術(教育技術)を意味する。
2 さて技術は実際の教育的行為において用いられるわけであるから、ペダゴジーは教育的行為あるいは実教育までを包含する。
3 ペダゴジーは、かかる実教育あるいは教育技術の理論的、学問的な反省、研究としての、教育学の意味に

第1章 教育の研究と教育人間学

(「教育人間学」より)

略年譜

- 大正四年(一九一五) 一〇月三〇日、鹿児島県始良郡単人町(現霧島市単人町)真孝に生れる(父常次郎、母ナツ)。
- 昭和三年(一九二八) 一〇月、父常次郎死去。母と二人暮らし。
- 昭和八年(一九三三) 四月、第七高等学校理科乙類入学(二年進学時文科に転科)。
- 昭和十一年(一九三六) 四月、京都帝国大学文学部哲学科入学。
- 昭和十五年(一九四〇) 四月、京都帝国大学大学院入学、同時に文学部副手。
- 昭和十六年(一九四一) 四月、川出美佐子と結婚。
- 昭和十七年(一九四二) 四月、大阪高等医学専門学校校助教授(ドイツ語担当)。ヤスパース「独逸的精神―マックス・ウェーバー」(翻訳)出版。
- 昭和二十一年(一九四六) 七月、大阪の連隊に入隊。八月、除隊。
- 昭和二十二年(一九四七) 四月、関西学院大学文学部助教授(教育学担当)。郷里鹿児島所有地約二〇町歩を自主的に解放。
- 昭和二十四年(一九四九) 一二月、大阪大学文学部助教授となる。
- 昭和二十五年(一九五〇) 一〇月、『今日の教育原理』出版。
- 昭和二十七年(一九五二) 六月、母ナツ死去。一〇月、D.A.D第一回給費留学生としてドイツに留学。
- 昭和二十八年(一九五三) 一二月、留学を終え帰朝。
- 昭和三十〇年(一九五五) 六月、ヤスパース「大学の理念」(翻訳)出版。
- 昭和三十一年(一九五七) 五月、教育哲学会理事となる。
- 昭和三十三年(一九五八) 三月、『みんなの願う道徳教育』出版。
- 昭和三十四年(一九五九) 『みんなが進める道徳指導―自主的な実践への足場』出版。
- 昭和三十六年(一九六一) 三月、『教育人間学―人間生成としての教育』出版。八月、大阪大学文学部教授となる。教育哲学・教育史講座並びに大学院研究科教育学を担当。
- 昭和三十七年(一九六二) 二月、文学博士(大阪大学)の学位を授与される。
- 昭和四一年(一九六六) 一二月、『未来からの教育―現代教育の成立と課題』出版。
- 昭和四三年(一九六八) 九月、日本教育学会理事会となる。
- 昭和四六年(一九七一) 一月、幼年期教育実態調査のため私立幼稚園連盟調査団と欧州に赴き、併せて大阪大学人間科学部創設準備のため欧州における人間諸科学の動向を調査。
- 昭和四七年(一九七二) 一二月、パリにて初孫ヴァレリー・安紀・ソフィ・ソリエル誕生。
- 昭和四七年(一九七二) 四月、網膜剥離のため大阪大学附属病院に一カ月間入院。五月、大阪大学人間科学部が創設され同学部教授となり、人間形成原論を担当。
- 昭和五〇年(一九七五) 九月、翌年まで雑誌「教職研修」に「人間形成原論」を一回にわたり連載発表する。
- 昭和五一年(一九七六) 一二月、骨腫瘍のため大阪大学附属病院に入院し、以後闘病生活に入る。
- 昭和五二年(一九七七) 一月二八日、永眠。享年六一。正四位勲三等に叙せられ旭日中綬章を賜る。一月二八日、大阪大学人間科学部葬。

(「教育とは何か」より)

第一章 教育の本質を正しくつかむために

I 「教育とは何か」を正しく考えるために
教育学は、教育者のためのものではありません。教育学は、教育者のためでも、受教者のためでも、教育者にとつて身近なもの、いかなる種類の問題かそこで取扱われていると教育者が実感できるような、そういう学問でなければならないと思います。このことを明かにするために、私は「序章」を書いたわけです。結論のあたりは、いぶん粗雑なものになってしまいましたが、要するに、私は「教育とは何か」を問題にしているのではなくて、「教育とは何か」を学問的に究明しようとしているわけです。

「教育とは何か」―もしこのような問を出され、作文なり論文なりを書かされたら、私は、読者の雅れしも、おそく十枚ほどの答をかんに書けるにちがありません。

新編 森昭著作集 全8巻

■定価 本体96,000円+税

2015年9月刊行

■編・解題 田中毎実(武庫川女子大学教授・京都大学名誉教授)

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約3,100頁

ISBN978-4-284-10447-0

■収録内容 (カッコ内は初版の発行年・発行所など)

- | | |
|--|--|
| 第1巻 教育理想の哲学的探求(黎明書房 1948年)
教育哲学序論—教育哲学への限界状況(蕉葉書房 1948年) | 田邊先生の書簡から(『田邊元全集』第8巻月報
筑摩書房 1964年) |
| 第2巻 教育とは何か—民族の危機に立ちて(黎明書房 1951年)
ドイツ教育の示唆するもの(黎明書房 1954年) | 第7巻 現代教育思潮(抄)(第一法規出版 1969年)
ヴァレリー—安紀への手紙(『人間のための教育1
幼児』序 日本放送出版協会 1973年)
改訂現代教育学原論(国土社 1973年) |
| 第3巻 経験主義の教育原理(金子書房 1952年) | 第8巻 人間形成原論 遺稿(黎明書房 1977年)
解題/年譜・研究業績目録 |
| 第4巻 教育の実践性と内面性—道徳教育の反省(黎明書房 1955年) | |
| 第5巻 教育人間学—人間生成としての教育(上)(黎明書房 1961年) | |
| 第6巻 教育人間学—人間生成としての教育(下)(黎明書房 1961年)
*「教育人間学」は収録にあたり上下分冊としました。 | |

おすすめ先 大学・公共図書館／教育研究者(教育思想、教育哲学、教育実践)／教育関係者・学生など

好評既刊

木村素衛著作集 全6巻

■定価 本体110,000円+税 ISBN978-4-284-10427-2

■体裁 A5判、上製、総約3,390頁

■解説 矢野智司(京都大学教授)

■収録内容

- | |
|--------------------------------|
| 第1巻 フィヒテ/国民と教養 他 |
| 第2巻 独逸観念論の研究 |
| 第3巻 表現愛/美のかたち |
| 第4巻 形成的自覚/教育と人間 他 |
| 第5巻 国家に於ける文化と教育/教育学の根本
問題 他 |
| 第6巻 草刈籠/雪解/魂の静かなる時に 解説・略年譜 |



高坂正顕著作集 全8巻

■定価 本体94,000円+税 ISBN978-4-284-10353-4

■体裁 A5判、上製、総約3,300頁

■底本 『高坂正顕著作集』全8巻(昭和39~
45年 理想社)

■収録内容

- | | |
|--------------|-----------|
| 第1巻 歴史哲学 | 第5巻 実存哲学 |
| 第2巻 カント研究(一) | 第6巻 教育哲学 |
| 第3巻 カント研究(二) | 第7巻 明治思想史 |
| 第4巻 現代哲学 | 第8巻 西田哲学 |



長田新著作集 全7巻

■定価 本体94,000円+税 ISBN978-4-284-10337-4

■体裁 A5判、上製、総約3,000頁

■監修 長田五郎(横浜市立大学名誉教授)

■解説 鈴木由美子(広島大学教授)

■収録内容

- | |
|---------------------------|
| 第1巻 現代教育哲学の根本問題 |
| 第2巻 教育活動の本質 |
| 第3巻 最近の教育哲学 |
| 第4巻 教育哲学—教育学はどこへいく— |
| 第5巻 ペスタロッチ—教育学 |
| 第6巻 ペスタロッチ—伝 上巻 |
| 第7巻 ペスタロッチ—伝 下巻 解説/小伝・略年譜 |



谷本富著作集 全6巻

■定価 本体95,000円+税 ISBN978-4-284-10345-9

■体裁 A5判、上製、総約3,100頁

■解説 竹中暉雄(桃山学院大学教授)

■収録内容

- | |
|----------------------------------|
| 第1巻 科学的教育学講義 |
| 第2巻 将来の教育学 |
| 第3巻 系統的新教育学綱要 |
| 第4巻 潔き立派な最期
道徳革新論(大学講義全集 第一集) |
| 第5巻 最新教育学大全 上巻 |
| 第6巻 最新教育学大全 下巻 解説・略年譜 |



〈発行〉

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
http://www.gaku-jutsu.co.jp
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
http://www.nihontoshu.co.jp

取扱書店